

# みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

No.100

2018年10月(秋号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています。

## 平成31年度 定時総会

日 時 平成30年11月25日(日) 10:00~14:00  
場 所 下関市園芸センター 実習室及びセンター内施設  
日 程 9:30~10:00 受付  
10:00~10:30 定時総会  
10:30~12:00 植物観察会  
12:00~13:00 支部会・昼食  
13:00~14:00 講演(新品種登録秘話) 内田会員

## 今後の会議の予定

監 査 日 時 平成30年11月 4日(日) 監査宅  
第1回役員会 日 時 平成30年11月11日(日) 10時~下松市中央公民館

(表紙の説明)

## マツタケ キシメジ科 キシメジ属

秋の代名詞と言えるマツタケは日本人にとって最高の食材です。しかし、世の中には、あの素晴らしい香りが鼻について嫌だという方もいるのです。(因みに、マツタケの英語名はスカンクマッシュルームといいます。)

前置はさておいて、表紙の白いキノコを見てマツタケと思いますか? 良い香りがすれども姿が見えずと思いきや、早朝、顔を出したばかりのマツタケは、何と色白なのです。実は、これは友人が伝授してくれたマツタケ削りの極意。松落ち葉の茶褐色の中に、白いキノコ…。お陰で右写真の収穫があったのです。しかし、マツタケ嫌いの案内人は、ほとんど持ち帰りませんでした。少し古い話です。



第2支部 黒田 義則

## 魅力ある研修会をするために集計結果

全会員にアンケート調査をしましたが、92名中23名しか回答がありませんでした。なぜでしょうか？半数以上は回答してほしかったのですが…

### 1 どのような研修内容を希望しますか。(ベスト3→)

- ・植物(15) ・昆虫(6) ・魚類(1) ・鳥類(4) ・哺乳類(3)
- ・は虫類、両生類(2) ・菌類(3) ・その他(生態系、絶滅危惧種、岩石2、全般)

### 2 希望する具体的な研修対象は何ですか。(ベスト3→)

- ・カタクリ(5) ・節分草(4) ・ヤマシャクヤク(3) ・ヒゼンマユミ(1)
- ・エヒメアヤメ(1) ・オオサンショウウオ(3) ・ナベヅル(1)
- ・クサフグ(0) ・アナグマ(2) ・アサギマダラ(3) ・ヒメボタル(2)
- ・その他 生物多様性(1)、ホンシャクナゲ(2)、ムササビ(1)、樹木観察会(1)、巨樹巨木(1)  
薬草山野草(1)、コガネムシとカナブン(1)、カタツムリとクモの採集と分類、鳥類(1)

### 3 希望する講師名を記入してください。(山口県内)

| (氏 名) <small>敬称略</small> | (所 属)     |
|--------------------------|-----------|
| ・荒木陽子                    | 秋吉台科学博物館  |
| ・渡辺                      | 林業山口      |
| ・池本忠平                    | 会 員       |
| ・永井要明                    | 会 員       |
| ・増野和幸                    | 会 員       |
| ・増原啓一                    | 蜘蛛研究者     |
| ・柴田智子                    | 徳山動物園(会員) |
| ・大田和彦                    | 会 長       |

※植物希望が圧倒的に多いので、最初は次のとおり植物の研修を実施したいと思います。

## 指導員研修会・植物観察会

1 日 時 平成30年10月14日(日) 13:00~16:00

2 場 所 秋吉台科学博物館及び秋吉台

美祿市秋吉町秋吉1237-938 TEL:0837-62-0640

3 日 程 13:00~14:00 植物についての講話(荒木陽子氏)

14:00~16:00 植物観察会

(申し込みは不要、時間厳守をお願いします。)



## みどりの風 100 号発刊にあたり

第5支部 岡 耿一郎

1991 年4月創刊の会誌「みどりの風」が、今回で 100 号になるという。

会誌の言い出しっぺは5支部の寺下信子さんと、ぼくたちは待ってたとばかりその発案に乗かった。ぼくは常々会員個々の意思表示・交流・連絡のための会報あってこそ、組織として存在意義（価値）があるものと考えていた。早速、清木会長から、激励の言葉と「みどりの風」という会誌名をいただき、5支部の有志\*1 で作成に取り掛かった。ただ、このような会誌の発行などが、数回・数年で熱も冷め、うやむやになってしまうことは、同人誌・同好会誌などでときどき見受けられ、ぼくには少なからぬ不安もあった。

創刊号の作成に当たり、寺下さんの御自宅で何度も編集会議を行った覚えがある。会誌の内容や印刷・製本など新鮮な提案と検討がされた。当時は、ワープロ機が普及し始めた頃で、パソコン、プリンターなんてうわさに聞く程度である。これぞ手作り会誌の始動。謄写版（孔版＝ガリ版）で始めるか、などと話し合った。

沖中さんから「孔版ではなく紙に描いた原稿（文字・写真・カット※2）をそのまま原紙に焼き付けする謄写版印刷機が学校にあるので、消耗品さえ負担すれば…」と提案があり、長らくお世話になった。

会員への発送は、寺下さん方に集まり、手書きの封筒に詰めたりした。原稿は、創刊号・2号くらいまでは、5支部会員だけで賄った。3号以降になると原稿集めも各支部長さんの協力が得られ軌道に乗ってきたと思う。

会員の方々には、言いたいことがいろいろたまっていたのだろう。今、読み返してみると、遠慮のない意見発表、自分たちの活動の紹介、また、新しい仲間のお誘いなども多くあって、「ああ、そうだった！」と、懐かしくなる。

パソコンの普及によって、会誌も読みやすくなった。作成担当が支部持ち回りになると、内容は、編集者の意気込みをうかがえるもの、自然保護思想の流れに寄り添うものなど、編集委員の気配りの多様性も見られるようになった。

さて、会誌 100 回記念に臨み、近年の投稿内容にあえて注文をすれば、レイアウトなどが整うにつれ、きれいな事が多くなったと感じる。会員として、イベント・活動の成果報告も楽しいけれど、結果に至るまでの苦労話・裏話を多く知りたい。新聞の投書欄のような様々な意見発表・問題提起も欲しい。さらに、地元で新発見した事象にかかわる報告は新鮮。地方に出掛けての観察・体験報告では地元（山口）の自然との対比・考察も添え、これから地元での自然保護活動への提言と、さらに感動も一筆添えてくだされば、読者は元気づけられることだろう。

終わりに、これまで、ほとんどお役に立ってこなかった自分を反省している。編集・制作担当のみなさまには、ますます気を遣う業務になろうかと思う。どうか、これからも若い会員獲得維持についても気を配りつつ、御自身の健康にも御留意のうえ、さらなる発展を続けるよう祈念します。

※1 東嘉治 岡耿一郎 岡崎六雄 沖中忠義 落合一郎 小松武磨 寺下信子 松崎静枝

※2 この印刷機は、思いも寄らない味方として活躍。投稿者の手書きのカットを多く掲載できました。特に第2支部の池田さんの息子さんの振一郎さん（小～中学生）は、表紙などに玄人はだしのカットを多く寄せてくださった。



## 定時総会お待ちしております

第5支部長 植田 高弘

今年の夏は、猛暑に地震、豪雨、台風による高潮や暴風の被害等々たくさんの自然災害が発生しました。しかし、9月中旬に入ってから徐々に気温が下がり始め朝晩はしのぎやすくなりました、第5支部の今後の予定をお知らせします。

10月20日(土) 角島星空ウォッチング 角島灯台公園 18:30~21:00 (雨天中止)

※ 申込み・問い合わせ等は つのしま自然館：電話・FAX 083-786-0430

11月10日(土) 蓋井島整備・調査活動 吉見港 9:00 発 : 蓋井港 15:00 発

※ 問い合わせ 植田 高弘 TEL090-2861-9762

11月25日(日) 平成31年度 定時総会 詳細は表紙裏をご覧ください。

【道 順】 県東部から来られる方：小月 IC を出て、国道 491 号を南下し、日清食品下関工場前の信号を右折し、長府才川方面を目ざします。

才川交差点を右折して国道 2 号に入り、印内交差点を右折し、さらに進みます。

長府トンネル前の滑石交差点を右折して県道 247 号を西進します。形山交差点をさらに西進すると、オーヴィジョンスタジアム下関球場、蒲生野交差点があります。交差点をさらに 3~400m 西進すると、左上に「園芸センター」の看板が見えます。



中国自動車道路小月インターチェンジを出て会場の下関園芸センターまでの経路

## 「みどりの風」の編集を顧みて

下松市 黒田 義則

### 機関誌編集を引き受けたきっかけ

記録を辿ると37号 2003年 1月号(新春号)から編集を本格的に始めました。

表紙写真のタイトルは「初日の出」で、太華山から笠戸大橋を望む日の出の写真をカラーで掲載しました。

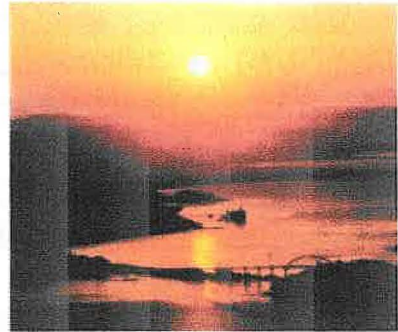
なお、裏面は上段に観察会のカラー写真を載せ、下段に《編集後記》を記す事にしました。

「みどりの風」の編集が大変であった様子が最初の《編集後記》から垣間見えます。

その内容をかいつまんで記しますと、「総会で機関誌「みどりの風」をどうするか?で大議論に成った」とあります。

「各支部持ち回りで、工夫して発行する」「回数を少なくしてでも発行すべきだ」など前向きな意見もありましたが「既に発行回数が減少している現状では無理だから発行は止めよう」という意見もかなり根強くありました。いずれにしても、今まで機関誌を頑張っつつくってこられた先輩諸氏の努力が水泡に帰すのかと思うと残念で仕方ありませんし、うやむやになってしまうのは淋しい限りです。今後とも有志の方々のご協力を仰ぎながら続けて行けたらと願っております。

と、《編集後記》を締めくくりました。その記述が無責任一言にならないようにせざるを得なかったのです。



2003年1月号の表紙写真、太華山から笠戸大橋を望む日の出



2016年(申)1月号の表紙に掲載した寒霞溪のオナガザル

13年間で51回発行し、89号2016年1月号(新春号)で小生の機関誌は幕を閉じますが、その89号の《編集後記》を紹介します。

会員の皆様方のご協力を得て、機関誌 第38号から89号まで季刊誌として年4回 欠版無く発行し続けたことを誇りに思っています。しかし、長く続けることは良いことですが、マンネリ化は否めない事実です。「次号からは当機関誌“発祥の地”第5支部が担当しますので、視点が変わり

違った持ち味の機関誌になると思います」

と記しましたが、予想通り素晴らし機関誌になっています。



紅白のカタクリ

### 寂地山 カタクリ保全活動について

1989年4月30日に「寂地山登山・カタクリ観察会」が行われ、1990年からは4月29日に「カタクリを愛でる集い」が発足しています。そのような中で小生発行の2号目 38号2003年4月号



(春号)の表紙に紅白の「カタクリの花」を載せました。表紙裏のコメントは、次のように書いています。

寂地山で数年観察して来た珍しい紅白のカタクリの花。一昨年、心ない人たちがお花畑の中にシートを敷いて昼食を摂っていた。撤去をお願いして花を確認したところ踏みつぶされ、白花が根本からポキリ。残念ながら昨年はついに咲くことはなかった。今年も駄目なのか気の重いこの頃である。

この機関誌39号発行1ヶ月後の4月29日定例の観察会に行ったところ、紅白揃って見事に咲いていたのです。しかし、喜んだのもつかの間、4～5日後に再確認に行ったところ、穴ぼこがあるのみでした。

それから、環境ミーティングでカタクリ保全活動を訴えました。特に地元の方の参加を強く希望したところ、2007年12月1日に保全活動がスタートしました。

錦川流域交流センターの白井氏が主催、山口県岩国農林事務所、岩国市錦総合支所、近畿中国森林管理局山口森林管理事務所、財団法人山口県ひとづくり財団、言い出しっぺの山口県自然観察指導員協議会の私たち夫婦等30名の参加で杭・ロープ・看板などを担いで悪天候の中設置しました。

それ以降、参加者は少数ながら岩国市錦総合支所の公園管理員高辻氏と15年間登山道整備、カタクリ保護のバリエー造り、現地での環境学習会を続けることが出来ました。

今年まで此の場所に白いカタクリの花が咲くことはありませんでしたが、この活動のお陰でお花畑は見事に復活し、登山道の随分下の方までカタクリの花が咲くようになりました。嬉しい限りです。ただし、此の活動を継続する為には若い力が必要だと思います。

## 切戸川の自然について



2003年10月号に裏表紙に掲載したイベント「楽しく見てしっかり知ろう 切戸川の自然」の写真

小生発行4号目40号 2003年10月(秋号)の裏表紙に「楽しく見てしっかり知ろう 切戸川の自然」の観察会の写真を載せました。(主催: いいまちつくろう創星倶楽部、後援: 下松市教育委員会、協力: 山口県自然観察指導員協議会Kビジョン(株)あかい坊で発足し、創星クラブ及び山口県自然観察指導員協議会会長を務めていた清木会長が講師で行われました。

75号 2017年7月(夏号)は第10回となった切戸川観察会を「見てふ2003れて 楽しく知ろう! 切戸川の自

然」と題し、表紙に観察会の風景、裏表紙には「切戸川のいきもの(16種)」の写真を載せました。7月28日の観察会には当写真をラミネート加工し、下敷きとして全員に配布しました。お陰で78名の参加があり大盛況でした。第16回となる本年7月29日は大雨洪水警報発令のため中止となり残念でした。(終)



## 寂地山・小五郎山の保全活動及び植生調査

本部・2支部

定点観測を行っている寂地山縦走路と小五郎山金山谷ルート(登山道)の点検整備と植生調査を下記の要領で行います。来春も一度点検整備を行って、植物観察のシーズンを迎えたと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

### ○ 寂地山

日時 10月15日(月)

9:00~16:00

集合 9:00 寂地峡入口駐車場

※緑のスタッフジャンパーが目印

予備日 10月16日(火)

9:00~16:00



寂地峡

### ○ 小五郎山

日時 10月22日(月)

8:00~17:00

集合 8:00 錦川清流線錦町駅

※緑のスタッフジャンパーが目印

予備日 10月23日(火)

8:00~17:00



小五郎山

持参物 弁当、お茶、タオル、軍手、雨具  
のこぎり、鎌

注意事項

- ・スズメバチ対策…黒い服装は不可
- ・保険の対応は各自でお願いします。
- ・参加希望者は、前日までに下記へ連絡ください。  
(当日、飛び入り参加も歓迎!)

※連絡先 大田 亘・fax 0833-46-0103

携帯 090-1189-8769

第6支部（北浦自然観察会）永井要明

2018年8月17日午前0時、北浦自然観察会8名はジャンボタクシーで長野県穂高岳を目指して出発した。

北浦自然観察会の行事は本来の行事と番外の行事があり、今回は番外の行事である。番外の行事は今回みたいに4日～5日を要し、なおかつ費用もかなりの金額になったり、自然保護上会員以外には案内できないもの等があり、本来の行事とは別会計にし、会員のみ案内を出す場合もある。ここ4年間は経済的な事情で私に代わって副会長が番外行事の一番大きな行事を行ったが、今年は私が主催した。

12:30に長野県松本市の道の駅「風穴の里」で昼食を摂り、13:20に大正池で最初の自然観察をした。キク科のハンゴンソウがあった（右下）。



大正池で記念撮影



ハンゴンソウ



上高地の河童橋

大正池はその西にある焼岳(2455, 4m)が大正4年に噴火し、泥流によって梓川がせき止められてできた湖である。名物だった立ち枯れの木は今は僅かに見られるのみである。そこで最初の記念写真を撮った（左）。上高地のバスターミナルに13:45に到着し、14:00に河童橋（右下）に着いた。大変賑やかである。

3日目に宿泊する予定の西糸屋山荘に不要な荷物を預けて、14:25に登山を開始した。

しばらくは自然探勝路を歩く。上高地散策コースの一部で大変人が多い。ウラジロモミ、ツガ、シラビソなどが木道の両側に生えているが基本的には湿地である。立ち枯れの木が



たくさん見られる所に出た（左上）。そこで記念写真を撮った（右上）。

しばらく歩くと自然探勝路と登山道の分岐点に着く。左下の写真はそこから湿地を写したものである。



立ち枯れの木を遠望



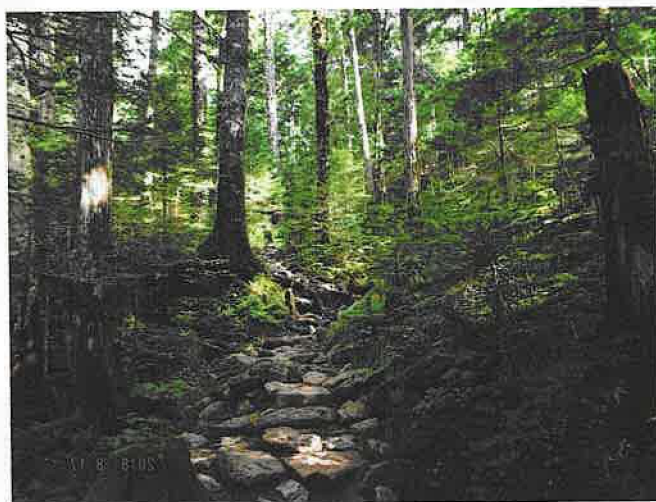
探勝道にあった沢池

探勝道はほぼ平らな道だったが前穂高岳登山道に入ると坂道を登る。しばらくはウラジロモミ、シラビソ、ツガ等の針葉樹が目立つ（右）。林床にオガラバナ（カエデ科）だと思うが、ミネカエデかもしれない木がある（左下）。

ゴゼンタチバナの実があった（右下）。



上高地散策コース、沢の付近で



針葉樹林に囲まれた前穂高岳登山道の坂道



ミネカエデ（？）



赤い実をつけたゴゼンタチバナ



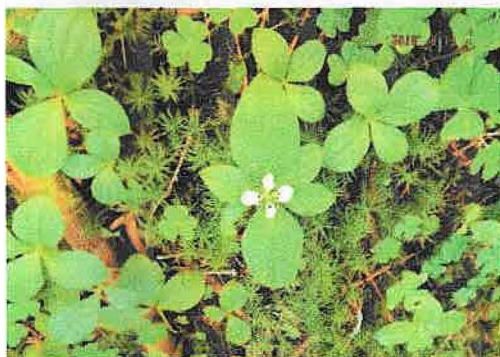
ナニワズかと思ったがカラスシキミのようだ。天然クーラーの風穴がある。標高は約1750m。ゴゼンタチバナは花も残っていた（左下）。



カラスシキミ



風穴



ゴゼンタチバナ

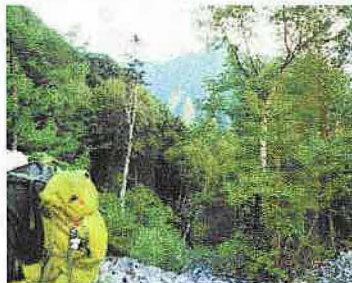


ヒメミヤマウズラ

ミヤマウズラ科と思ったが、ヒメミヤマウズラだ（右上）。前者は常緑樹林下の植物で、後者は針葉樹林下の植物である。ここはまだ針葉樹が多い。

森からでて沢が見られる所に出た。岳沢は上の方から崩壊した石が河原のようになっている沢である。樹皮が赤みがかった色をしている木はダケカンバである（左下）。

シラカバもある（中央上）。森の中には樹皮が灰色のウダイカンバもあった。これはテツカエデの実だと思う。（右端）



（左）ダケカンバ、（中央）シラカバ、（右）写真中央に実をつけたテツカエデ





これは、ハクサンシャクナゲだと思う。葉がホンシャクナゲに比べて丸みがある（左上）



ハクサンシャクナゲ



サワダツ



ヤナギラン

サワダツというのはこんな所にあるのかと思った（左下）。  
標高は既に 1800m を超えている。ヤナギランは一か所だけに  
あった。非常に美しく目立った（上右）。滑落事故の  
ような遭難があったのだろうか、ヘリコプターがひっきり  
なしに飛んできてやかましかった。奥穂高岳の山頂付近が  
見えてきたが、この日は雲が少しあった（右）。



雲のかかる奥日高岳を望む



ヨツバシオガマ（？）



ハクサントリカブト

ヨツバシオガマだろうか（左上）。それにしても葉の切れ込みが浅い。エゾシオガマなら  
花卉に赤みはないはずである。よく分からない。ハクサントリカブトではないだろうか（右  
上）。色が青白いのは日当たりが悪いせいだと思う。





ナナカマド



オオヒョウタンボク



イワツメクサ

ナナカマドは既に実が赤くなっている（左上）。

オオヒョウタンボクの実がなっていた（左下）。ひょうたんのように二つの実がくっついている。

イワツメクサもある。直径1cmくらいの小さい花である（右）。花卉は5弁だが深裂しているので10弁に見える。

17:30 頃岳沢小屋に着いた。寒い。小屋の人の話では朝霜が降ることが有るそうだ。冬物のジャンパーで丁度良いくらいの気温である。



宿泊所の岳沢小屋

日暮れ前に南の乗鞍岳がくっきりと見えた。地図ではすぐ近くのはずだが、随分遠くに見える（右）。



乗鞍岳の夕暮れ遠望

部屋は薄い布団があるだけで毛布はなかった。風邪を引かないようにできるだけ着られるものは着て寝た。寝間着を持ってこなかったものはカップを着て寝た。女性は使い捨てカイロを用意していたので、助かった。私はトレッキングタイツをズボン下代わりに着て寝た。よく眠れた。（次号へ続く）



## 第 39 回 緑の少年隊交歓大会に参加して

第 5 支部長 植田 高弘

私は 8 月 8 日（水）、山口徳地青少年自然の家において開催された、第 39 回緑の少年隊交歓大会に大田会長と参加しました。



フィールドビンゴ、ふりかえりの場面

今回参加した学校・児童数は、3 校・17 名でした。

午前中は、まず、徳地アドベンチャープログラム（グループワークを通して、コミュニケーション力を高めるプログラム）を中心に展開されました。プログラムの詳細な内容は分かりませんが、主催した自然保護課の担当者の方によると、

- ①誕生日で丸く円を作って、両サイドの友達と指をつかむゲームをしたこと。
- ②全員で手を繋いだ状態からフラフープを抜けるゲームをしたこと。
- ③絡まったロープを全員の片手でつかんだ状態から、ほどくゲームをしたこと。
- ④サイコロを使ったゲームをしたこと。

以上のようなグループ活動を展開したということです。参加した子どもたちは、学校の垣根を越えて楽しく交流していました。

昼食後は、フレンド広場で、県シェアリングネイチャーゲーム協会 2 名の指導者が、こうもりと蛾やフィールドビンゴ等の活動をしました。

フィールドビンゴでは、3～4 人のグループを作り、カードに書かれている「かぜのおと」を感じたり「たね」を見つけたりして」等、フィールドを巡りました。子どもたちは、自然を感じる活動を深めました。



最後は私たちの番ですが、受け持ち時間が40分だったので、大田会長と相談して、環境学習をクイズ形式のパワーポイントにしようということで、「鳥・昆虫クイズ」を大田会長、「森林・花クイズ」を植田が担当しました。児童の皆さんが環境問題に興味を持ってくれたかどうかはよくわかりませんが、今日一日のこのスケジュールから言えることは、自然に親しむ気持ちは十分に持ってくれたのではないかと感じました。また、他校の友達としっかり交流が出来るような感じがして交歓会の目的は十分に達せられている気がしました。

自然保護課の担当者の方の話によりますと、発足当初、2泊3日で実施していたのが1泊2日になり、今回は1日の開催となりましたと、いうことでした。



食うか食われるか、「コウモリと蛾のゲーム」を楽しむ



昆虫・花・森林などから出題した環境学習クイズ

私は、当交歓大会に過去数回参加したことがあります。小学生が自然豊かな場所で、学校の垣根を越えて交流し、自然に親しむと同時に自然を大切にする心を育ててほしいと願っています。(終)

## 「貝の小物づくり」「クジライラスト展」開催

今、山口市阿知須において開催されている「第35回全国都市緑化やまぐちフェア(山口ゆめ花博)」において、つノしま自然館では、次のとおり「貝の小物づくり」や「クジライラスト展」を計画しています。機会がありましたら、ぜひ、お立ち寄りください。



日 時 平成30年10月27日(土)～28日(日) 9時～15時

場 所 「山口ゆめ花博」森のピクニックゾーン(参加無料)

内 容 ①貝の小物づくり ～紙粘土で貝を作り、それを小物に仕立てます。色付(各日の午前、午後2回) けも行ないます。小物は各自、持ち帰れます。

②クジライラスト展～ツノシマクジラ漂着20周年を記念して、会場でクジラを描いてもらい、その場に展示します。

(終 日)



## 平成30年度第4回役員会議事録

### 開催日時・場所

日 時 平成30年9月2日(日) 10:00~11:30

場 所 下松中央公民館(ほしらんどくだまつ) 交流室3

・出席 7名(黒田、植田、永井、平田、松原、脇田、大田)

### 議 事

#### 1 魅力ある研修会・観察会について(詳細は別ページ)

・アンケート結果は、植物希望が圧倒的に多かった。

可能なら、10月に実施する。魅力ある会にするための研修会・観察会とする。

#### 2 中国五県交流会(岡山)について

・10月27日~28日。現在、参加者7名。9月末締め切り。

#### 3 平成31年度定時総会について

・平成30年11月25日(日) 10:00~14:00

下関市園芸センター 昼食持参

#### 4 副会長、第3・4支部長について

・笹尾前副会長兼第4支部長辞任により、両副会長はしばらく空席、第3支部長は小林氏、増野氏に打診する。第4支部長は管氏、原谷氏、油利氏に打診する。

#### 5 「みどりの風」10月号(100号)

・原稿締め切り 9月16日

### ＜ 編集後記 ＞

No100号をお届けします。今回初めて編集に対する意見をいただきました。賛同もありましたが、創刊当初の「個々の意思表示、交流、連絡」という点から見ると記事が希薄だという厳しい意見もありました。私たちも自然観察に無関心という風潮や会員の高齢化(固定化)が原因だとは思いたくありません。なんとかできるはずだと工夫しているつもりです。編集者は褒められて育つタイプなものですから、瞬間、ムッとしましたが、初期の広報紙は会員が喜んで投稿していることが、よくわかります。とにかく悩んでいます。(U)

### 山口県自然観察指導員協議会会誌 ＜みどりの風＞

#### ■発行 山口県自然観察指導員協議会

会 長 大 田 和 彦

〒744-0043 下松市東陽 2-2-5

Tel (Fax) 0833-46-0103

#### ■機関誌編集長 植 田 高 弘

〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21

Tel (Fax) 083-258-2706

環境やまぐち推進会議委員 様

山口県環境生活部長



### サイクル・ライフアプリ「電子スタンプラリー」の開始について

県では、省エネ・節電など、地球温暖化防止への取組を更に促進するため、『ぶちエコやまぐち』を合言葉に、CO<sub>2</sub>削減県民運動に取り組んでいます。

この度、通勤や買い物の身近な交通手段として自転車の利用を推進するため、サイクル・ライフアプリを活用し、下記のとおり、自転車で県内スーパーなどを訪れると、抽選でクーポン券が当たるスタンプラリーを実施します。

つきましては、スタンプラリーの周知について御協力をいただくとともに、貴団体の会員等の積極的な参加に御協力くださるようお願い申し上げます。

なお、ポスター掲示、チラシ・ステッカー配布に御協力いただける場合は、別添「ポスター・チラシ・ステッカー送付申込書」を担当あてにFAXまたはメールにより提出してください。

### 記

#### ＜サイクル・ライフアプリ 電子スタンプラリー＞

##### 1 実施期間

平成30年9月21日(金曜日)～平成30年10月31日(水曜日)

##### 2 概要

###### (1) 参加方法

###### ① サイクル・ライフアプリをダウンロードする

Google Play(Android 版)又は Apple Store(iOS 版)からダウンロード可能(無料)です。

###### ② スタンプを獲得する。

次の店舗などを利用すると、自動でアプリ内にスタンプが貯まります。

| スタンプが獲得できる店舗等                              | 獲得できるスタンプ数 |
|--------------------------------------------|------------|
| 県内 4 社 (イズミ・コープやまぐち・フジ・マルキ<br>ュウグループ) の各店舗 | 各社 1 個/日   |
| サイクルエイド、サイクルステーション等<br>(サイクル県やまぐち関係)       | 各所 1 個/期間  |
| ぶちエコやまぐち宣言事業所                              | 1 個/日      |

###### ③ クーポン券の抽選に応募する。

アプリ内の専用ページから、スタンプ 15 個でクーポン券 1 枚の応募ができます。

###### (2) クーポン券について

県内 4 社のスーパーで買い物に利用できるクーポン券を、応募いただいた方の中から延べ 700 名に贈呈します。

なお、クーポン券は 1 枚につき 500 円の割引が受けられます。

山口県環境生活部環境政策課

環境企画班 主任 田中友之

〒753-8501 山口市滝町 1 番 1 号 (山口県庁 2 階)

TEL:083-933-3030 FAX:083-933-3049

E-mail:tanaka.tomoyuki.02@pref.yamaguchi.lg.jp